

●昇天後主日

# 泉のほとり

今月の詩編「第百十三編」

わたしたちの神、

主に並ぶものがあるうか。

主は御座を高く置き

なお、低く下つて天と地を御覧になる。



## 主の弟子として歩む中で

初代教会は、ユダヤ、サマリア、ガリラヤの全地方で平和を保ちながら成長を続けていきました。その中、各地を巡回していた使徒ペトロは、リダの町で中風を患い、寝たきりの生活を送っていたアイネアと出会います。彼はいくらか力を振り絞っても起き上がれず、着替えも食事でも自分でできない不自由な9年間という長い苦しみの中にありました。ペトロが「アイネア。イエス・キリストがあなたを癒やしてください。起きなさい。自分で床を整えなさい」と告げると、彼はたちまち力を取り戻し、一瞬にして起き上がりました。かつて主イエスも、中風の人や重い皮膚病の人など、多くの病人を完全に癒やされました。どうして、それほどのみわざ、御力が主イエス、ペトロには表れているのか。その根底には、病の者たちに対する「深い憐れみ」がありました。内臓が震え、痛むほどの深い憐れみ。汚れと定められた人にも触れ、人を生かすためにご自身を与え尽くす、その純真な心に神のみわざが表れていたのです。そして、一言で中風の人を癒やすほどののみわざを為したペトロもまた、人の苦しみ、痛みを自分のこととして見る、純真な心に造り変えられていたと思います。

ヤッファの町にはタビタという婦人の弟子がいました。当時は女性が積極的以外で働くことが難しく、やもめたちは生活に必要な不可欠な衣服さえ手に入れるのが困難なほど貧しい生活を余儀なくされていました。タビタはそのやもめたちのために、多くの時間と労力を割いて上着や下着を手作りし、数々の善い行いと施しをしていました。タビタは病を癒やすような奇跡は行いませんでしたが、貧しい者の痛みを自分のこととして受け止め、黙々と愛のわざに生きていたのです。その姿もまた、人を生かすためにご自分を与える主の心が見られるものです。

しかし、そのタビタが病にかかり、命を落としてしまいます。深い悲しみに包まれた弟子たち、やもめたちは、往復40キロもの道のりを経て急いでペトロを呼び寄せました。タビタが遺した衣服の数々と人々の涙を通して、彼女の深い愛を知ったペトロは、皆を外に出し、一人遺体の前でひざまずいて祈りました。死の事実を前に人は無力ですが、ペトロが祈り終えて「タビタ、起きなさい」と告げると、彼女の心臓は再び動き出し、息を吹き返したのです。神は、人のために労苦し愛を尽くしたタビタに、死をも打ち破るほどの御力を表されました。この出来事は町中に知れ渡り、さらに多くの人々が主を信じ、宣教の働きが広がっていきつかけともなりました。

ペトロとタビタの姿は、今日の教会や主の弟子たちが携えるべき心と、進むべき道を明確に指し示しています。二人の働きや立場は異なりましたが、根底にあるのは「隣人を深く憐れむ主イエスの心」と「自分自身を与えて生きる愛のわざ」でした。主の弟子として召されているわたしたち。いきなり身を削るような大きな働きを為すことは難しくても、家庭、職場、教会など、いま置かれている場所でも愛のわざに生きる。周囲の隣人を心にかけて、困難を抱える者がいるならば他人事とせず、自分のこととして見て、時間や力を費やしてその必要を満たしていきたいと思えます。時に忍耐が求められる、自分だけが労苦しているように感じることもあるかもしれません。しかし、その愛のわざによって周囲の人々が助けられ、生かされていくならば、それは本当に喜ばしいことです。生涯を通じて主の弟子として歩み、日々愛のわざに励みながら、神に大いに喜ばれる最も幸いな道を一歩ずつ進んでいきましょう。

(使徒九章三二―四三節 宮間彰広兄)

## 《公 告》

左記により、今年度につきましては延期が決定してございました四月教会総会を開催致します。現住陪餐会員はご参加下さい。

2026年5月10日  
キリスト品川教会  
代表役員 黄 允滙

### 記

日時 2026年5月24日(日) 13時  
場所 グローリア・チャペル・地下ホール  
及びリモート

### 議事

- 2025年度諸報告承認に関する件
- 2025年度教勢報告
- 2025年度行事報告
- 2025年度諸会計報告、財産目録

以上

## 《今日のお知らせ》

- 定例役員会をカナンルームで行います。役員の方はお集まりください。
- 今回の洗礼、転入会式は七月二六日です。その時に、受洗、転入会をご希望の方は今日までに願書をお書きの上、牧師宛ご提出ください。願書は事務所にあります。

- 総会資料を状差しに配布しました。内容をお読みいただき、次週の総会の際にお持ちください。

## 《ぶどうの会より》

本日、ぶどうの会を第二・三シオンルームで行います。

## 《教会学校から》

### 子ども礼拝のお知らせ》

次週五月二四日はペンテコステ主日です。その日の子ども礼拝は礼拝堂でお捧げいたします。ぜひ教会の皆様にもたちと共に礼拝にあずかっていただきたく、ご案内申し上げます。

時間：九時二〇分～五〇分

(朝の讃美は九時一〇分からです。)

場所：礼拝堂

《交 読 詩 篇》

※会衆は太字の箇所を唱和します。  
(司・会)の箇所は司式者と会衆が合わせて唱和  
します。

【詩篇百十三篇】賛歌。

ハレルヤ。主の僕らよ、主を賛美せよ

主の御名を賛美せよ。

今よりとこしえに

主の御名がたたえられるように。

日の昇るところから日の沈むところまで

主の御名が賛美されるように。

主はすべての国を超えて高くいまし

主の栄光は天を超えて輝く。

わたしたちの神、主に並ぶものがあるうか。

主は御座を高く置き

なお、低く下って天と地を御覧になる。

弱い者を塵の中から起こし

乏しい者を芥の中から高く上げ

自由な人々の列に

民の自由な人々の列に返してください。

(司・会)

子のない女を家に返し

子を持つ母の喜びを与えてくださる。

ハレルヤ。

《今日の子ども礼拝》

●子ども礼拝(午前9時20分・地下ホール)

説教 「悔い改める一人の罪人を」

聖書 ルカ15章1〜7節

説教者 宮間 彰広兄

《次週の礼拝》

ペンテコステ礼拝

●子ども礼拝(午前9時20分・礼拝堂)

説教 「その日、教会が生まれた」

聖書 使徒2章37〜42節

説教者 吉村 和雄 名誉牧師

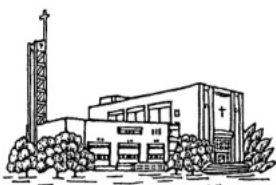
●主日礼拝(午前10時30分・礼拝堂)

讚美歌 181番 185番

説教 「真理の霊が悟らせること」

聖書 ヨハネ16章1〜17節

説教者 黄允湜 牧師





## 主日礼拝 (午前10時30分)

讃美歌 159番 339番  
説教 「偽証してはならない」  
聖書 出エジプト20章16節(旧約 P.126)  
司式 石川 一 兄  
聖餐司式 黄 允湜 牧師  
説教者 黄 允湜 牧師

前奏曲「今ぞ喜べ、我ら愛するキリスト者」

J.P.スウェーリンク

### ○讃美歌159番

- 1.あおげや輝く雲にうち乗り  
天なるみくらに昇るわが主を  
きかずや御使みかどを開き  
よろこび迎うる たたえの歌を
- 2.つねより御殿の などかく賑おう  
知らずや勝利の 君なるイエスは  
死の長やぶりて 世をとりかえし  
今日しも御国に 帰らせたもう
- 3.父なる御神と 共にしあゆみ  
生命とほろびと わかる道の  
しるしを残して エノクの如く  
移されたまいぬ あめなる家に
- 4.地にて朽つべき 人をもあめに  
昇らせたまいし すくいの主よ  
み跡をしのびて 振放けみれば  
我らがゆくても 明にぞなれる

アーメン

### ○聖歌隊による讃美

「主イエスは死に勝ちて」 ジョージ・J. エルヴィー作曲  
主は死に勝ちて  
主イエスはよみがえりたもう  
ハレルヤ ハレルヤ  
主は死に勝ちて よみがえりぬ  
ひとたび主イエスは 罪に死に  
父の神と 神とともに  
とこしなえの 真(まこと)の命に  
いらせたまいぬ  
主は死に勝ちて  
ハレルヤ ハレルヤ

### ○讃美歌339番

- 1.君なるイエスよ けがれし我を  
洗いきよめて めぐみを賜え  
わが日わがとき わがもの皆は  
今よりとわに 君のものなり
- 2.わが手は君の み業をならい  
われの歩みは み跡をふみて  
いそしみ進み 主の御力に  
常にたよりに 強からしめよ
- 3.われの舌をば すくいの主の  
恵みをうたう 器となして  
わが口唇に よき音ずれを  
溢るるばかりに 満しめたまえ
- 4.黄金 しろがね 知恵も力も  
献げまつれば みな取り用い  
我のこころを 宝座となして  
み旨のままに 治めたまえや

アーメン

聖餐曲 讃34番「命の旅路はたそがれゆく」 R.H.ハン

後奏曲 讃21-91番

「神の恵み豊かに受け、神の民は勇み行く」

D.ウット